

一般質問

第2回定例会（平成28年3月）

▼3名の議員より一般質問がありました



10 山本和子

野村 恵子 議員

道の駅新設について

野村 恵子 議員

■昨年1月、国土交通省は地方創生の柱に位置付ける重点道の駅十勝管内候補として、上士幌町を選定した。候補となった理由の1つに、観光や地方移住の促進により地域外から活力を呼ぶ事を目指すゲートウェイ型の道の駅として、ふるさと納税が多い上士幌町の利点を生かし納税者や来訪者への移住定住の働きかけなどの情報発信の窓口と位置付けることで候補の対象となり、その後1年が経つ。道の駅



山本 和子 議員

について町長のお考えをお聞きする。

■道の駅については24時間無料で利用できる駐車場、トイレがある休憩機能、道路情報・観光情報発信機能、地域連携機能を有する事が一定条件になっている。

重点道の駅候補に選定されたことに伴い、平成27年9月に調査研究の為の事業費を予算化し、道の駅調査研究委託事業として進めている。
なお、基本計画作成に当たっては①道の駅及びナイタイ高原レストハウスの主な導入機能及び基本コンセプト②施設運営計画③施設整備計画④事業運営計画を主に検討していく予定である。現時点での考えでは平成28



山本 弘一 議員

年度基本計画作成、平成29年度〜平成30年度に基本設計、実施設計、工事、平成31年度に工事、施設開業の予定としているが、今後の検討状況によっては変更もありうる。

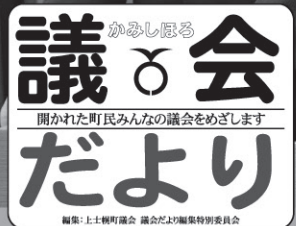
ナイタイ高原牧場レストハウス建設について

野村 恵子 議員

■昨年10月8日から9日にかけての台風23号による強風により、ナイタイ高原牧場レストハウスが壊滅状態になり大変な被害にあった。ナイタイレストハウスは1978年に建てられ、

その年の9月にレストハウスとしてオープンし、近年ではふるさと納税による知名度が上がりレストハウスで提供しているメニューに地場産の物を使い提供することで来客数が増え、平成26年には約5万5千人弱の方々が訪れた、上士幌町にはなくてはならない観光地である。
ナイタイ高原牧場レストハウスを早急に建てなおし、昔から要望の多いトイレの改修も含めオープンする考えはあるか。

■ナイタイ高原牧場観光の拠点として建設の必要性は十分認識しており、国の重点候補になつた道の駅の建設計画も進められていることからお互いの機能分担を明確化するなどで相乗効果を図るように両施設が連携した



第171号 平成28年5月

形で基本計画を作成すること
している。

生活困窮者への対応に ついて

山本 和子 議員

○平成27年度より「生活困窮者自立支援法」が施行されたが、その対応はどうなっているのか。「生活の大変な方々の支援」を町づくりの視点とし、各種団体や企業とも連携し取り組むべき。また、早期発見、対応を行い、必要に応じて新たな施策や制度も創設するべきである。
②町の「国民健康保険一部負担金減免要綱」を見直し、対象者を広げるべきである。
③東京都日の出町のように70歳以上の医療費の無料化を検討するべきである。

きるように取り組んでいく。
②拡大は厳しい。減免制度が利用できない場合は、無料・低額診療を紹介している。
③総合的に地域包括ケアの中で、安心・安全な暮らし方を協議している。医療の在り方は、今後の検討課題とさせていたただきたい。

胃がん予防のためにピロリ菌検査を

山本 和子 議員

○平成26年の世界保健機関(WHO)の報告によると、全世界の胃がんの78%がピロリ菌の感染が原因と推定され、がんの予防に除菌の効果を認めている。道内では、昨年から中高生対象に尿検査を実施している。平成28年度は、帯広市、函館市でも実施予定である。中学3年の希望者に対し、尿検査を実施し陽性者へ除菌の助成を。また、町のがん検診項目にピロリ菌検査の実施を検討するべきである。

告において、「効果の根拠が十分でないため、引き続き検証の必要がある」とされ、平成28年度の指針でも胃がん検診の検査項目は「胃部エックス線、内視鏡」と示された。しかし、北大はじめ全国自治体が連携する中で研究が進んでいることから、将来の実施について検討していきたい。

今後における上士幌町農業技術研究センターのありかたについて

山本 弘一 議員

○上士幌町農業技術研究センターは、平成3年に建設されて以来25年が経過している。今後の上士幌において、農畜産物等調査、研究、更に起業をめざす重要な拠点施設と位置付け、今年度から調査に入る道の駅関連施設として、新築、移転の考えがあるか。小さな拠点形成の公共施設の再配置整備計画は役場庁舎周辺を中心とした、消防庁舎、病院、住居等はあるが、道の駅、技術センターは入っていない。これから10年、20年先を考え、こ

ンパクトシティ化の中で考えるべきではないか。道の駅は、特産物の販売が主であるが、技術センターを関連施設と位置付け、町外からの人を呼び込むという意味で、加工しているところをみせる、食べる、購入してもらう等、必要なことではないか。

○建築から25年が経過し、建物の老朽化が進んできているので、新年度予算で屋根、壁の修繕の予算を計上している。研究開発を担う専門職員も内定の段階であり、設備の整備を図って行く。6次産業化の研究開発拠点施設として町民の要望に応えるようハード、ソフトの両面から再構築を図りたい。新年度、調査計画が予定されている道の駅は、技術センターと重複しない形で考えている。道の駅について、展示のしかた、見せかたは検討が必要である。



今回の一般質問の様子は、上士幌町議会ホームページ第2回定例会3月14日(月)録画中継から視聴できます。



議員さんの言ひ
◆人災(テロ)・自然災害(地震)など想定外の事件が重なる昨今です。議会も改選から2年目に入りました。町の動きも地方創生路線に乗ってスピードに進んでいます。今年は生涯学習センター改築工事が始まります。小さくても光り輝く町の発展と住民の幸福のために、さて、議会もさらなる活性化が必要です。町民の皆様からのご要望、ご意見などお寄せください。
【渡部信一 議員】

平成 28 年第 3 回 上士幌町議会臨時会 会議結果

【会期】平成 28 年 4 月 27 日（1 日間）



※主な結果を掲載しています。

| 議案番号 | 件名 | 議決年月日 | 表決 | 議決の結果 |
|----------|--|---------------------|---------------|-------|
| 議案第 35 号 | 工事請負契約の締結について ⇒ 上士幌町生涯学習センター改築 建築主体工事 | 平成 28 年 4 月 27 日 | 賛成 10 反対 0 | 原案可決 |
| 議案第 36 号 | 工事請負契約の締結について ⇒ 上士幌町生涯学習センター改築 電気設備工事 | | | |
| 議案第 37 号 | 工事請負契約の締結について ⇒ 上士幌町生涯学習センター改築 機械設備工事 | | | |
| 議案第 38 号 | 平成 28 年度上士幌町一般会計補正予算（第 1 号） ⇒ 2743 万 4 千円を減額し 77 億 9968 万 9 千円に補正。 | | | |

所管事務調査中間報告

平成 28 年 3 月 18 日に開催された第 2 回議会定例会において、中村保嗣総務文教厚生常任委員会委員長及び山本弘一産業経済建設常任委員会委員長が、それぞれ所管事務調査中間報告を行いました。詳しい内容につきましては上士幌町議会ホームページ「各種資料・報告書」のコーナーに掲載しておりますのでご覧ください。

◆総務文教厚生常任委員会

1 調査事項

- (1) 移住・定住・二地域居住の調査に関する事
- (2) その他、総務文教厚生調査に関する事

2 調査期間及び調査地

- (1) 調査期間 平成 28 年 1 月 29 日～31 日まで 3 日間
- (2) 調査地 東京都

3 調査目的

- (1) 1 月 30 日開催の上士幌フェアについての調査研究



松屋製菓



上士幌フェア（東京）

◆産業経済建設常任委員会

1 調査事項

- (1) 商工・観光振興の調査に関する事
- (2) その他、産業経済建設の調査に関する事

2 調査期間及び調査地

- (1) 調査期間 平成 28 年 1 月 23 日～25 日まで 3 日間
- (2) 調査地 大阪市、三重県伊勢市

3 調査目的

- (1) 1 月 24 日開催の上士幌フェアについての調査研究
- (2) 松屋製菓の企業誘致に係る本社訪問

議会だより編集特別委員会

| | | | | |
|----|----|-----|----|----|
| 委員 | 委員 | 副委員 | 委員 | 議長 |
| 員 | 員 | 員 | 員 | 長 |
| 佐藤 | 中村 | 野村 | 山本 | 杉山 |
| | | 保 | 恵 | 和幸 |
| 昇 | 嗣 | 子 | 子 | 昭 |

ぎが、日誌

【3月】

- 2 日◆第 2 回定例会（1 日目）
◆議会運営委員会
- 4 日◆予算審査特別委員会
- 7 日◆予算審査特別委員会
- 9 日◆総務文教厚生常任委員会
◆産業経済建設常任委員会
- 14 日◆第 2 回定例会（2 日目）
◆議会運営委員会

平成 28 年 3 月～5 月

- 18 日◆第 2 回定例会（最終日）
◆議会だより編集特別委員会
- 【4月】
- 22 日◆議会運営委員会
- 27 日◆第 3 回臨時会
- 【5月】
- 24 日◆総務文教厚生常任委員会
- 25 日◆産業経済建設常任委員会
- 30 日◆議会全員協議会
◆議会運営委員会